

## クイックスタートガイド

この製品の機能についてのより詳細な情報は、[behringer.com](http://behringer.com) の製品ページをご覧ください、  
完全なマニュアルをダウンロードしてください。



# EURODESK SX4882

Ultra-Low Noise Design 48/24-Input 8-Bus In-Line Mixer with  
XENYX Mic Preamplifiers, British EQs and Integrated Meterbridge

## JP 安全にお使いいただくために



## 注意

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。



## 注意

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。



## 注意

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。



## 注意

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。



## 注意

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。
9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのもの

のです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるように手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用時の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

## 法的放棄

技術的な仕様および製品の的外観は予告なく変更される場合があります。またその内容の正確性について、いかなる保証をするものではありません。BEHRINGER、KLARK TEKNIK、MIDAS、BUGERA、および TURBOSOUND は、MUSIC GROUP (MUSIC-GROUP.COM) のブランドです。すべての商標はそれぞれの所有者の財産です。MUSIC GROUP は、ここに含まれたすべて、もしくは一部の記述、画像および声明を基にお客様が起こした行動によって生じたいかなる損害・不利益等に関して一切の責任を負いません。色およびス

ベックが製品と微妙に異なる場合があります。MUSIC GROUP 製品の販売は、当社の正規代理店のみが行っています。ディストリビューターとディーラーは MUSIC GROUP の代理人ではなく、あらゆる表現、暗示された約束、説明等によって MUSIC GROUP を拘束する権利はまったくありません。この説明書は、著作権保護されています。本取扱説明書に記載された情報内容は、MUSIC GROUP IP LTD. からの書面による事前の許諾がない限り、いかなる利用者もこれを複製、使用、変更、送信、頒布、入れ替え、工作することは禁じられています。

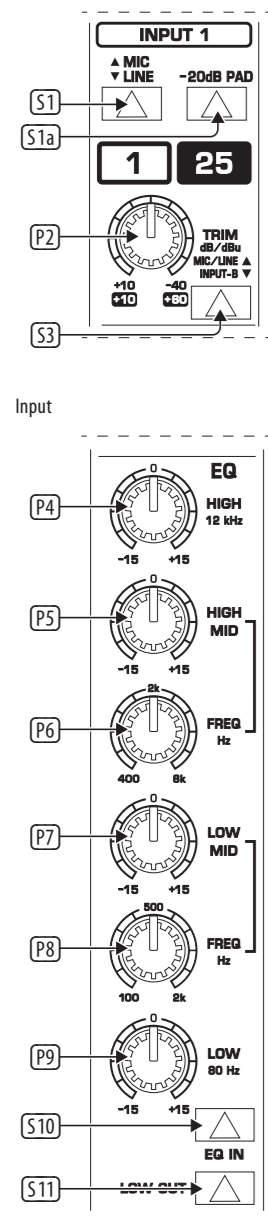
製権所有  
© 2013 MUSIC Group IP Ltd.  
Trident Chambers, Wickhams Cay, P.O. Box 146,  
Road Town, Tortola, British Virgin Islands

## 限定保証

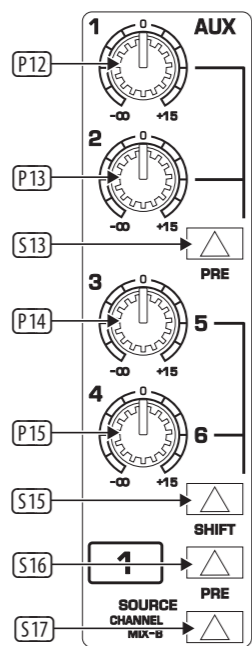
適用される保証条件と MUSIC Group の限定保証に関する概要については、オンライン上 [www.music-group.com/warranty](http://www.music-group.com/warranty) にて詳細をご確認ください。

# EURODESK SX4882 コントロール

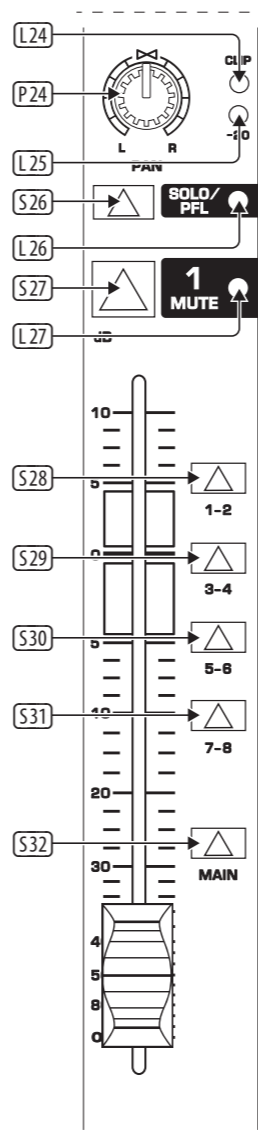
## コントロール



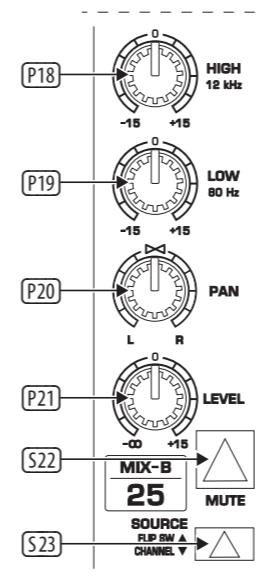
Main equalizer



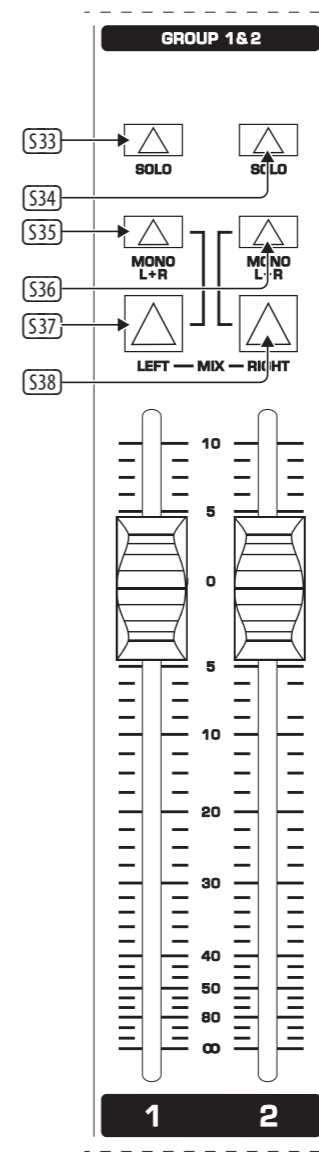
Aux sends



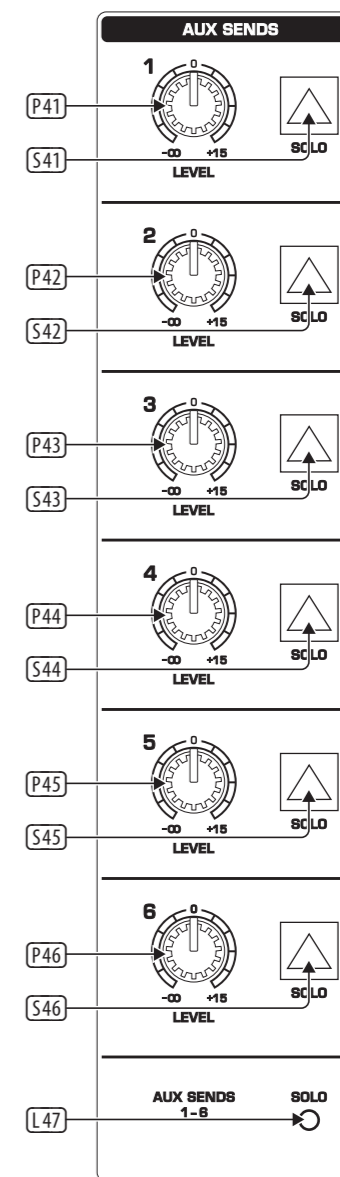
Routing



B-channel



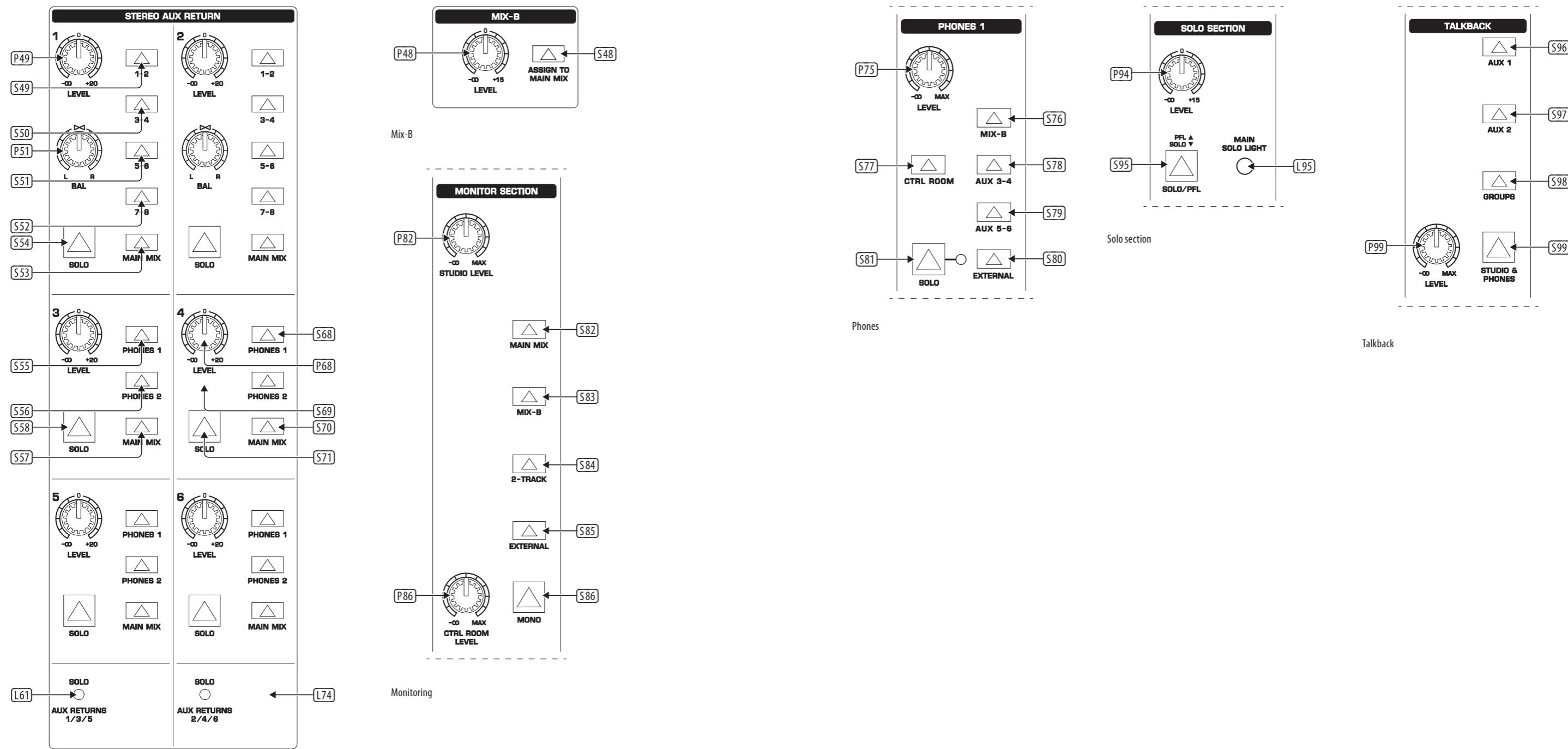
Stereo subgroup schematic



Aux sends

# EURODESK SX4882 コントロール

## コントロール



Stereo aux returns

# EURODESK SX4882 コントロール

## コントロール

### 機能の概要

首字母	含义
S	开关
L	指示灯
P	电位计
F	推子

使用されている略語の意味

#### レベルの表示

24組の入力チャンネルには信号の入力状態 (-20 dB、(L25)) とオーバードライブ (PEAK、(L24)) を示すそれぞれ 2 つの LED が設けられています。

各チャンネル、各サブグループおよびメインミックスの信号の状態はメーターブリッジセクションの 12 段階 LED チェーンにより正確に示されます。Display Mode スイッチ ((S100))、マスターセクションの左上部) は 2 基の LED によって示される CHANNEL および TAPE モードの切り替えに使用されます。

ライブ・ミキシング作業に適した CHANNEL モードでは、チャンネル・ダイレクトアウトからの信号、つまり、イコライザー、MUTE スイッチおよびフェーダーの後段で取り出される信号がメーターブリッジの LED チェーンに表示されます。

レコーディング作業用の TAPE モードではマルチトラックレコーダー内の信号が LED チェーンに正確に表示されます。ここで表示される信号はミキサーのテープリターン入力端子 (ミックス B) を通過する信号です。この信号は作動レベル切替えスイッチ (+4 dBu または -10 dBV) の後段、チャンネル内で行われる全ての処理の前段において取り出されています。

#### 各チャンネルの操作

各チャンネル操作パネルはメインチャンネル (または A チャンネル) と B チャンネルに別れています。各チャンネル操作部の大部分は、スイッチ (S1) と (S3) の位置に応じて、MIC (マイク)、LINE (ライン)、および TAPE (テープ) 入力信号の処理行なう A チャンネルによって占められています。B チャンネルは独立のミックス B バスに接続されています。

#### 音源の切替え

(S1) はマイク入力とライン入力の切替えに使用されます。(このスイッチが押されている状態ではライン有力が選択されています。) PAD スイッチ (S1a) は入力されるマイク信号のレベルを必要に応じて 20 dB 分カットするのに使用されます。FLIP スイッチ (S3) は、(S1) でセレクトされた音源 (Input) とマルチトラックレコーダー入力 (TAPE) のどちらが A チャンネルの入力側に接続されるかを決定します (3.1 参照)。B チャンネルの入力側には (S3) でセレクトされなかった信号が接続され、例えば、A チャンネルに Input 信号が入力される場合には B チャンネルには Tape 信号が入力されることとなります。

B チャンネルには上記の他に、(S23) で選択された信号の変わりに A チャンネルから取り出された (MUTE スイッチ後段、チャンネルフェーダー前段) 信号を B チャンネルに投入するスイッチ (S23) が設けられています。これによって、ミックス B バスは追加のステレオ Aux バスまたは独立のステレオミックス用バスとして活用することができます。このような使用の場合にはミックス B チャンネルを (S48) (マスターセクション) でメインチャンネルから切り離してください。

#### 入力ゲインの調整

入力ゲインはポテンシヨメーター (P2) で調節します。レベルのチェックには PFL/SOLO 機能 ((S26)) を使用します。信号のレベルはマスターセクションの LED チェーンに表示され、信号は同時にモニタースピーカーにも出力されます。PFL/SOLO ((S26)) スイッチの横には信号の状態を表示する LED ((S26)) が装備されています。

#### A チャンネル・イコライザー

A チャンネル・イコライザーは (S10) で信号経路から切り離すことができ、これによって、処理済みと未処理の信号の A/B 比較を簡単に行なえます。(他にも、EQ を使用しない場合にオフに切り替えるという方法があります。) イコライザーは 12 kHz と 80 Hz の 2 つの周波数 ((P4)、(P9))。A チャンネル・イコライザーには 300 Hz から 20 kHz までの範囲と 50 Hz から 3 kHz までの範囲で調節することができる 2 基のフィルター ((P5)、(P6)、(P7)、(P8)、固定肩特性: Q = 1)。

さらに、不快な低音ノイズは Lo Cut フィルター ((S11))、カット・オフ・フリケンシー 75 Hz でスロープ 12 dB / Octave) で排除することができます。

#### Aux バス

6 つある全ての Aux バスはモノラル、ポスト EQ 出力となっており、2 つの独立したグループとしてプリフェーダー (フェーダー前段) とポストフェーダー (フェーダー後段) の切替えを行なうことができます。( (S13)、(S16) ) Aux 1 と 2 には、(S13) でポスト / プリフェーダー切替え可能な独立のポテンシヨメーター ((P12)、(P13)) が装備されています。Aux 3 と 4 および 5 と 6 は 2 つのポテンシヨメーター ((P14)、(P15)) でコントロールされ、SHIFT スイッチ (S15) が Aux 3 と 4 または 5 と 6 のいずれの組にアクセスするかを切替えます。ここでも (S16) でプリ / ポストフェーダーの切替えを行なうことができます。このほか、(S17) (SOURCE スイッチ) で AUX3~6 への音源を A チャンネルから B チャンネルに切り替えることができます。全ての Aux バス信号は 15 dB までの増幅を行なうことが可能です。

#### ルーティングとミュート

インサートチャンネルからの信号は 6 つのステレオバス (およびステレオ SOLO バス) に接続されます。メインミックスへの出力は (S23) で、サブグループへの接続はスイッチ (S28) (サブグループ 1 と 2)、(S29) (サブグループ 3 と 4)、(S30) (サブグループ 5 と 6) もしくは (S31) (サブグループ 7 と 8) でセレクトすることができます。偶数番号または奇数番号のサブグループへの信号の配分は A チャンネルのパンポット (P24) で設定します。

サブグループやメインミックスに到達する信号のレベルはチャンネルフェーダー ((ChF))で調節します。

MUTE スイッチ ((S27)) は A チャンネルをプリフェーダー (フェーダー前段) にセットされている Aux バスを除く全てのバスから切り離します。

#### B チャンネル

B チャンネルは 2 バンドイコライザー ((P18)/(P19))、パンポット ((P18)/(P19)) およびレベルコントローラー ((P21)) を装備した、第二の独立したチャンネルです。イコライザーは A チャンネルの「Shelving」イコライザーにあたります。B チャンネルの出力はミックス B バ스에固定されており、入力信号は (S1)、(S3) および (S23) で TAPE、LINE、MIC または A チャンネルに切り替えることができます。B チャンネルにも MUTE スイッチ ((S22)) が装備されています。Aux センド 3/4/5/6 は (S17) で A チャンネルから B チャンネルに切り替えることができます。

#### クイックスタートガイド

#### サブグループ

マルチトラックレコーダーの入力回路への信号はサブグループ出力から出力されます。4 つのステレオ (または 8 つのモノラル) サブグループは 1 から 8 まで、順番に番号付けされており、全ての A チャンネルおよびステレオ Aux リターン 1 と 2 からの信号を受けることができます。

テープレコーダーへの出力のほかにも、サブグループを (S37) と (S38) によってサブミックスとしてメインミックスに出力することも可能です。(S37) は奇数番号のサブグループを左側のチャンネルに、(S38) は偶数番号のサブグループを右側のチャンネルに接続します。1 つのステレオ・サブミックスのかわりに 2 つのモノラル・サブミックスを利用したい場合にはさらに MONO スイッチ ((S35) と (S36))。

サブグループ内の SOLO スイッチ ((S33) と (S34)) はサブグループ信号をステレオソロ・バスに実際のステレオまたはモノラルの配分に従って出力します。

サブグループ信号のレベルはフェーダー ((GrF39)/(GrF40)) で調節されます。

#### Aux センド

縦の列には Aux センド 1 から 6 までの出力コントローラーが並んでいます ((P41) から (P46))。調整範囲はマイナス無限大から +15 dB の間であり、中央位置 (Unity Gain = 0 dB の増幅) から上にも感度の低いエフェクト機器などに十分な強さの信号を送るために必要な余裕が設けられています。各 Aux センドには SOLO スイッチ ((S41) から (S46)) が装備され、これらのスイッチのいずれか一つがオンに切り替えられると LED ((L47)) が点灯します。

#### Aux リターン

Aux センドの横には 1 ダースのモノラルライン入力として使用することも可能な Aux リターン (6 つのステレオ入力) が並んでいます。入力信号は、左側音声用の入力端子を使用するとモノラル信号として入力することが可能です。

#### Aux リターン 1 と 2

Aux リターン 1 と 2 はサブグループへ (ということと同時にレコーディングトラックへ) とメインミックスへのルーティング機能を全て備えています: ROUTING ((S49) から (S53))、LEVEL ((P49))、BALANCE ((P51)) と SOLO ((S54))。

#### Aux リターン 3 から 6

Aux リターン 3 から 6 は上記の回路と同様にメインミックスへ接続することができます ((S57)/(S70))。これに対して、これらの回路からサブグループへの接続は行なうことができず、その代わりに信号をヘッドフォンミックス 1 と 2 に出力することができます ((S55)/(S68)、(S56)/(S69))。ここにも LEVEL コントローラー ((P55)/(P68)) と SOLO 機能が備えられています。( (S58)/(S71) )

#### SOLO

各 Aux リターンの列の下には、上に位置する列の SOLO スイッチが押されると同時に点灯する SOLO-LED ((L61) と (L74)) が装備されています。

#### Mix-B マスター

ミックス B マスターは、EURODESK で一般的なマイナス無限大から +15 dB までの調節範囲を持つ LEVEL コントローラー ((P48)) とミックス B 出力をメインミックスに接続するスイッチ 1 基 ((S48)) を備えています。基本的にミックス B マスターは、完全に独立したミックスをミックス音声の中に作り出す機能、ミキシング用に追加のステレオモニターまたは Aux センド回路をつくる ((S23) オープン、(S48) を押した状態)、もしくははミキシング用に 24 の付加的なライン入力回路を提供する ((S23) が押され、(S23) がオープンの状態) といった 3 つの機能を有しています。

#### モニター

ほとんどの場合、モニター作業では多くの時間がメインミックスに費やされますが、このほかにも PFL/SOLO バス、ミックス B ((S83))、2 トラック・プレイバック ((S84)、マスターリングマシン出力または DAT) もしくは EXTERNAL ((S85)) のモニターも行われます。LED ディスプレイにはそれぞれ選択されている信号が表示されます (当然、この表示は単一の音源が選択されている場合にのみ意味があります)。

CONTROL ROOM LEVEL コントローラー ((P86)) はモニタースピーカー出力の音量を調節します。STUDIO LEVEL コントローラー ((P82)) はさらにもう一組のスピーカーの音量設定に使用することができます。

モニターセクションにはさらに MONO スイッチが装備され ((S86))、ステレオ信号のモノラル互換性をちえっくするのに利用することができます。このスイッチの使用もメインミックスには何ら影響を与えません。

#### ヘッドフォン

ヘッドフォン 1 と 2 (PHONES 1 と 2) のコントロール機能は全く同一のものです。ここでは説明を PHONES1 にとどめます。

音源セレクトはミックス B ((S76)/(S88))、Aux センド 3/4 ((S78)/(S90))、Aux センド 5/6 ((S79)/(S91))、EXTERNAL ((S80)/(S92)) と CONTROL ROOM ((S77)/(S89)、モニターセクションで選択された信号) を個別または同時にヘッドフォンに接続します。

この音源セレクト機能に加えて、Aux リターン 3 から 6 をスイッチ (S55)/(S56) または (S68)/(S69) でヘッドフォンバスに出力することができます。

ヘッドフォン出力の出力レベルは (P75) または (P87) で調節します。LED ((L81)/(L93)) 付属の SOLO スイッチ ((S81)/(S93)) はヘッドフォンアンプ出力のモニターを可能とし、ヘッドフォン信号をモニタースピーカーでチェックすることができます。

#### PFL

スイッチ (S95) は PFL と SOLO バスの切替えを行ないます。

#### SOLO

Solo は主に個別の信号または信号グループをモニターするのに利用されます。SOLO スイッチをオンにすると選択された以外のモニター・バス上のチャンネルはミュートに切り替えられます。Solo 機能は本来の「SOLO IN PLACE」を行い、セレクトされた信号をステレオ・フィールド上に正確に再現します。Solo バスへの出力は PANORAMA ポテンシヨメーター、Aux センド / リターン・レベルコントローラーなどの後段で行われ常にポスト・フェーダー出力となっています。

### トークバック

内蔵されたトークバックマイクはレコーディングルームやステージ上の作業者とのコミュニケーション用です。トークバックセクションでもっとも大事なコントローラーは LEVEL コントローラー (音量設定) (P99) と STUDIO & PHONES キー ((S99)) です。キー (S96) から (S99) を使用すると Aux 1、Aux 2、サブグループ、スタジオおよびヘッドフォンに割り込みを行なうことができます。

キー (S99) が押されている間、トークバックマイクを通じてのフィードバックを防ぐためモニタースピーカーのレベルは 20 dB カットされます。他の全ての信号経路はこのスイッチの影響を受けません。



# 技術仕様

JP

## A チャンネル

<b>Mic 入力</b>	
タイプ	フォンジャック, 別系統入力
<b>Mic E.I.N.1 (22 Hz - 22 kHz)</b>	
150 Ω ソース	-129.0 dBu / -117.3 dBqp
入力ショート	-132.0 dBu / -122.0 dBqp
歪み率 (THD + N)	0.007 % @ +4 dBu, 1 kHz, 周波数帯域 80 kHz
増幅域	+10 dB から +50 dB
最高入力レベル	+12 dBu (+32 dBu @ PAD)

## ライン入力

タイプ	フォンジャック
増幅域	0 dB から +40 dB (-20 dB から +20 dB @ PAD)
最高入力レベル	+22 dBu
チャンネルフェーダー調整範囲	+10 dB から -85 dB / オフ
Aux センド 増幅範囲	0 dB から +15 dB / オフ

## イコライザ

Hi Shelving	12 kHz, ±15 dB
Hi Mid Sweep	300 Hz から 20 kHz, ±15 dB
Lo Mid Sweep	50 Hz から 3 kHz, ±15 dB
Lo Shelving	80 Hz, ±15 dB
Lo Cut (HPF)	75 Hz, 12 dB/oct.

## チャンネル・ダイレクトアウト (Direct Out)

最大出力レベル	+22 dBu
ノイズ @ 0 dB gain	-94 dBu
出力インピーダンス	120 Ω
Tape Returns	6.3 mm ジャック, バランス / アンバランス, 同時切替え可能 +4 dBu/-10 dBV

## チャンネルインサート

最高入出力レベル	+22 dBu
チャンネルクロストーク	-95 dB @ 1 kHz

## B チャンネル

増幅域	0 dB から +15 dB / オフ
Hi Shelving	12 kHz, ±15 dB
Lo Shelving	80 Hz, ±15 dB

## サブグループ

<b>ノイズ<sup>2</sup></b>	
バスノイズ @ フェーダー 0 dB	-102.5 dB
24 チャンネル・アサイン (Input B) & set @ 0 dB gain	-92.5 dB
16 チャンネル・アサイン (Input B) & set @ 0 dB gain	-94.5 dB
サブマスター最高出力レベル	+22 dBu, バランス / アンバランス
サブマスター・インサート最高出力レベル	+22 dBu
サブマスター・インサート最高入力レベル	+22 dBu
フェーダー調整範囲	+10 dB から -85 dB / オフ

## メイン・ミックス

<b>ノイズ<sup>2</sup></b>	
バスノイズ @ フェーダー 0 dB	-101.0 dB
24 チャンネル・アサイン (Input B) & set @ 0 dB gain	-92.5 dB
16 チャンネル・アサイン (Input B) & set @ 0 dB gain	-94.5 dB
最大出力レベル	+28 dBu, XLR 接続, バランス / +22 dBu, 6.3 mm ジャック, アンバランス
Aux リターン増幅範囲	0 dB から +20 dB / オフ
Aux センド最高出力レベル	+22 dBu

## システムデータ

歪み率 (THD + N)	0.007 % @ +4 dBu, 1 kHz, 周波数帯域 80 kHz; < 0.02 %, 通常の操作レベルで 22 Hz から 22 kHz, 入力端子から出力端子, 周波数帯域 80 kHz
---------------	--

## 周波数帯域

20 Hz から 40 kHz	±1 dB (入力端子から出力端子)
10 Hz から 120 kHz	±3 dB

## ノイズ<sup>2</sup>

@ フェーダー 0 dB	-102.5 dB
24 チャンネル・アサイン (Input B) & set @ 0 dB gain	-92.5 dB
16 チャンネル・アサイン (Input B) & set @ 0 dB gain	-94.5 dB

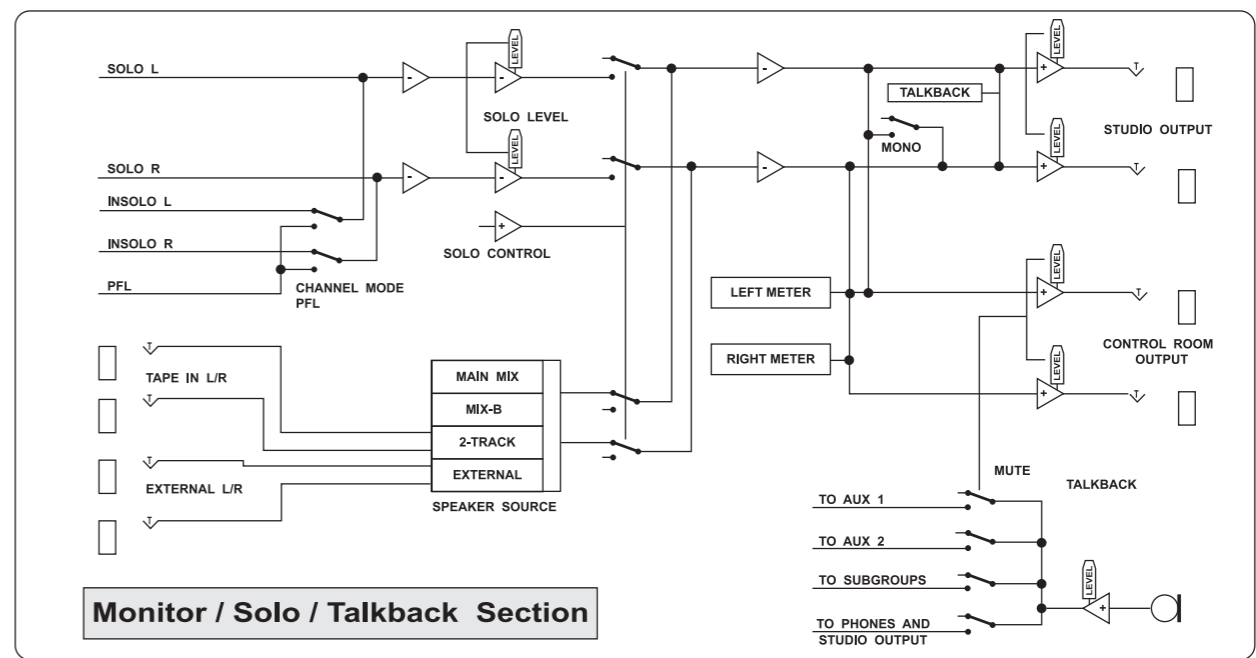
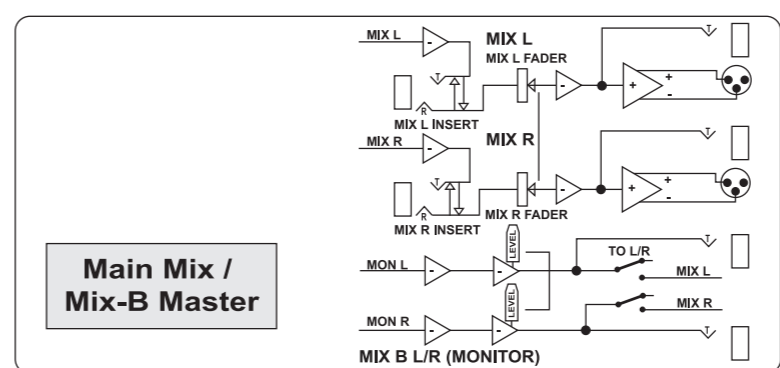
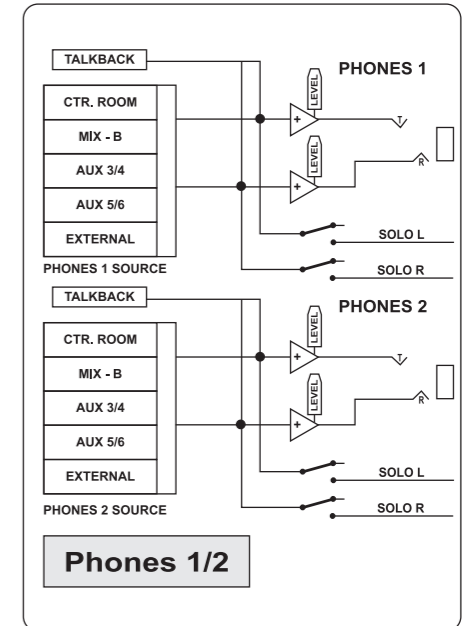
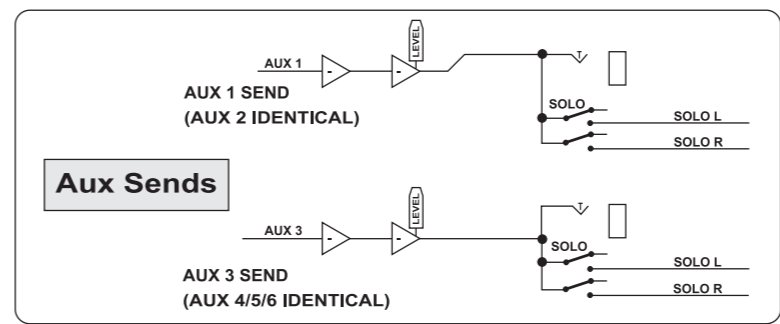
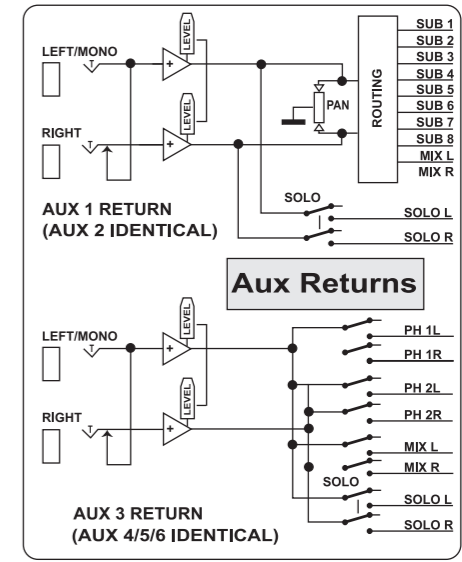
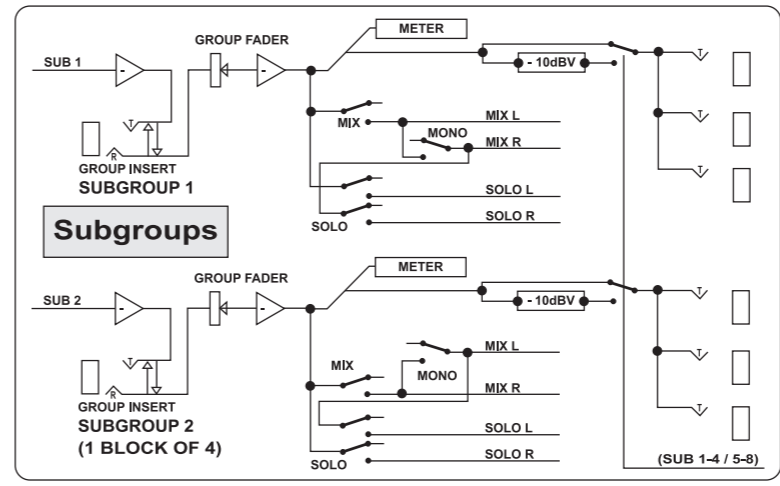
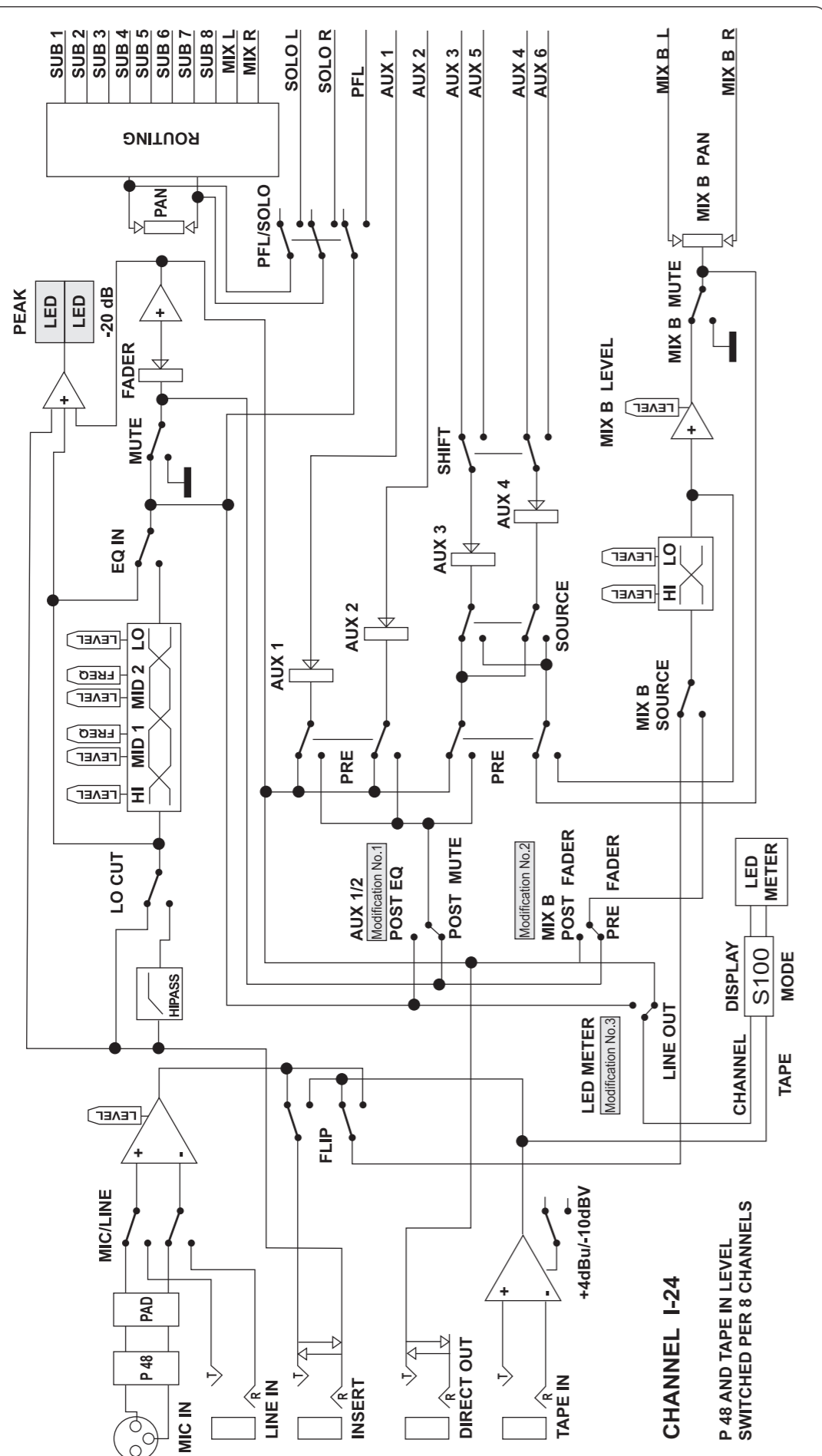
## 電源供給

消費電力	250 W
電源電圧	100 - 240 V~ (50/60 Hz)
ヒューズ	T 3.15 A H 250 V
電源接続	標準 IEC 電源コネクタ

## 外形寸法および重量

外形寸法 (高さ x 幅 x 奥行)	約 72 mm / 220 x 940 x 750 mm
質量	約 27.72 kg

I/O channel architecture





# その他の重要な情報

JP

## JP その他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**  
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
- 2. 故障:** MUSIC Group デイラーがお客様のお近くにはないときは、behringer.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の MUSIC Group ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ behringer.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、behringer.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
- 3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。



We Hear You